

第57回 水工学に関する夏期研修会

主催：公益社団法人 土木学会

期日：対面：2022年9月5日（月）～9月6日（火）（A,Bコース並行開催）

オンデマンド：2022年9月14日（水）～9月27日（火）

場所：対面：東京大学本郷キャンパス，オンデマンド：オンライン

※新型コロナウイルスの蔓延状況によってオンライン開催となる可能性があります。

Aコース（河川・水文）

Bコース（海岸・港湾）

【行事コード 2322021(対面)／2322023(OL)】

【行事コード 2322022(対面)／2322024(OL)】

「頻発する豪雨災害の現状と複合災害への備え」

「波・流れと地盤の複合現象」

■ 9月5日（月）

9:00～ 10:30	大石哲（神戸大学）：流域管理のための数値計算に必要なデジタルトランスフォーメーション		
10:45～ 12:15	加藤史訓（国土技術政策総合研究所）：海岸の将来ビジョンとその技術政策課題		
13:15～ 14:45	芳村圭（東京大学）： 全世界の水文予測に向けた数値モデルと衛星観測の融合	13:15～ 14:45	鈴木高二朗（港湾空港技術研究所）： 海岸工学での地盤にまつわる事象について
15:00～ 16:30	石川博基（国土交通省）： 流域治水の今後の展開	15:00～ 16:30	松田達也（豊橋技術科学大学）： 海岸工学および地盤工学における模型実験の方法論

■ 9月6日（火）

9:00～ 10:30	中林一樹（東京都立大学）： 豪雨災害に備える「流域治水」から複合災害に備える「流域防災」へ	9:00～ 10:30	高橋英紀（港湾空港技術研究所）： 流体と地盤の模型実験の相似則
10:45～ 12:15	二瓶泰雄（東京理科大学）： 洪水・津波と地震の複合災害に関する基礎研究	10:45～ 12:15	中村友昭（名古屋大学）： 格子法に基づく波浪・地盤連成解析とその適用例
13:15～ 14:45	竹林洋史（京都大学）： 土砂災害を発生させる物理現象	13:15～ 14:45	藤澤和謙（京都大学）： 流れの平均化方程式と土水境界における接続条件
15:00～ 16:30	牛山素行（静岡大学）： 洪水・土砂災害による人的被害と避難	15:00～ 16:30	原田英治（京都大学）： 粒子法を用いた底質土砂輸送機構の検討

定員：対面講義（Aコース100名，Bコース100名），オンライン（両コース合わせて500名）

受講料：一般16,000円，学生・院生10,000円

※参加登録をされた方は，申し込み区分に依らず，全員がA,B両コースのオンデマンド動画をご覧いただけます。

申込方法：土木学会ホームページ：申込みサイトの準備が整い次第，URLを掲載します。

問合せ先：土木学会研究事業課 TEL：03-3355-3559（担当：林）

備考：講義の変更等の最新情報に関しては下記のホームページをご覧ください

夏期研修会ホームページ：<https://committees.jsce.or.jp/hydraulic/node/213>

本研修会は土木学会のCPD（継続教育）プログラムに申請中です。